

地域の活力を高める

「地域おこし協力隊」事業は、都市部の住民を受け入れ、その定住・定着を図りながら、地域ブランドの創生や地場産品の開発・販売・宣伝、移住・交流の支援などを行い、地域力の維持や強化が図られるよう、支援する取り組みです。

市では、平成27年度から岩坪友義さんと今西花緒利さんの2人が、隊員として活動しています。

問い合わせ 商工企業課 植田 ☎(53)2647

企業支援アドバイザーの岩坪友義さん

岩坪さんは、市商工会に所属し、中小企業の訪問や個別相談会、経営者へ商品開発や商店の集客方法などのアドバイスを行い、商工業の活性化に取り組んでいます。

観光プロデューサーの今西花緒利さん

今西さんは、市内の観光関係者や市商工会職員、市職員のレベルアップや意識改革に取り組んでいます。

また、セミナーを通して、事業者や市商工会職員、市職員のレベルアップや意識改革に取り組んでいます。

また、観光の商品化や観光PR、インバウンド体制の確立なども取り組んでいます。



岩坪友義さん

昭和24年、石川県生まれ。千葉大学大学院自然科学研究科生産科学専攻博士（博士課程）修了。（学術博士）カルピス食品工業勤務、中小企業大学校非常勤講師、シアトル国際短期大学助教授、玉川学園女子短期大学非常勤講師、山脇学園短期大学非常勤講師、埼玉県技術アドバイザー、(財)日本生産性本部主任経営コンサルタント、玉川大学教授を経て現在、埼玉県生産性本部理事、(財)日本生産性本部総括経営コンサルタント、牧之原市地域おこし協力隊として勤務。

企業の経営ノウハウを皆さんに伝えたい

海外から見ると、日本企業のモノづくりやサービスに対しては高品質、低価格と評価されています。ところが、国内では中高齢化の進展や景気の低迷などにより、国民全体に元気がありません。将来に対する明るい材料を探すことは難しいと思われませんが、各社が独自にもっているノウハウや技術、マーケティング力からみた強みを駆使し、何とか活路を見出していかなければなりません。私の大手企業や中小零細企業、海外企業に対して経営指導などを行ってきた経験が、皆さんの力になればと思っています。ぜひ相談してください。



今西花緒利さん

昭和42年、福岡県生まれ。東京家政大学へ進学し英語英文科を専攻。卒業後は台湾に留学。商社で営業・開発室のディレクターとして、海外との貿易、生産、プロダクト企画やデザイン、営業などをトータル指揮し、ものづくりに長年携わってきた。今年度グリーンティール・カップ2016実行委員長を務める。

市の魅力を積極的に発信していきたい

市の自然、特産物、人情どれも魅力的です。外から移住してきた人間だからこそ、地元の皆さんが当たり前前に享受しているものが、とても新鮮でありたく、価値あるものに思えます。市外への情報発信と併せて地元の皆さんが「牧之原ってこんなに豊かで恵まれている」と誇りに思ってもらえる「再発見！」を情報発信していきます。市内の名跡や物産品を魅力的に演出し、観光の掘り起こしへとつなげていきたいです。また、人とのつながりと協力、団結と熱意を持って「人が住むまち」と「人が訪れるまち」の共生を目指します。

健康

B型肝炎予防接種が定期接種になります

本年10月から、平成28年4月生まれ以降の乳幼児を対象に、B型肝炎予防接種が「定期接種」となります。

B型肝炎は、B型肝炎ウイルスの感染によって引き起こされます。感染力が強く、大人は一過性の感染で済みますが、乳幼児は持続感染になるリスクが高くなります。しかし、予防接種をすることでB型肝炎ウイルスの感染を防止することが出来ます。健康維持のため、ワクチンで防ぐことができる病気は、予防接種で防ぎましょう。

▼対象者

平成28年4月生まれ以降の生後2カ月以上1歳未満の乳幼児

*平成28年4月から7月生まれは個別通知、それ以降の子どもについては予防接種説明会でお知らせします。

▼接種方法

27日以上の間隔をあけて2回接種後、1回目から139日以上

B型肝炎予防接種・高齢者インフルエンザ予防接種 定期予防接種の変更のお知らせ

問い合わせ 健康推進課 中村 ☎(23)0024

▼接種医療機関

の間隔をあけて3回目を接種

接種医療機関リストを対象者に個別通知

▼接種医療機関

平成28年度から、高齢者インフルエンザ予防接種の病院での受け方が変わります。

昨年年度までは、申し込んだ人に市から予防接種の予診票などの書類が郵送され、それを各医療機関に持参して受ける方法でした。

今年度からは、「これらの書類を指定の医療機関に置き、皆さんが直接、医療機関へ行って受診する方法」に変わります。

医療機関に予約を入れてから受診しましょう。

詳細は、8月から9月に送付された介護保険料の通知書に同封しお知らせします。

インフルエンザは、通常のかぜと比べて重症化しやすく、肺炎などの合併症を起こして死に至ることもあります。また、潜伏期間が短く感染力が

▼対象者

強いことも特徴で、毎年、12月下旬から3月上旬にかけて多くの方がインフルエンザにかかっています。

①接種する当日に65歳以上の未満の人で、心臓や腎臓、呼吸器などに重い病気のある人（身体障害者手帳を持参し接種）

*インフルエンザの予防接種は、強制されるものではありません。本人の意思に基づき、接種を希望する人が受けられます。

▼助成期間

平成28年10月1日(土)〜平成29年1月31日(火)

▼自己負担

1800円

▼公費助成

1回/年度（2回目以降は全額自己負担）

▼医療機関

榛原医師会、小笠医師会の加入医療機関、榛原総合病院など

▼予診票

各医療機関、ささなか窓口、相良保健センター窓口に配置

高齢者インフルエンザ予防接種の受診の流れ

